

住民意識にもとづく社会資本政策の効果の計測

国土交通省国土技術政策総合研究所 正会員 栗原真行*
 東北工業大学 正会員 青木俊明**
 国土交通省国土技術政策総合研究所 正会員 松井健一*

1. はじめに

今後の公共政策の実施に際しては、限られた財源を活用しつつ、的確に住民の要請に的確に応えていくことが必要である。特に経済社会・国民生活の基盤となる社会資本については、一定の整備水準が達成されつつあり、今後は、多様なニーズに対応したきめ細やかな政策展開が期待される。そのためには住民ニーズを的確に把握するとともに、これに基づいて政策の効果の計測する方策を確立する必要がある。

本研究では、心理学の理論を応用して社会資本政策の体系化を行うとともに、住民に対するアンケート調査を行い、住民意識にもとづく政策効果の計測の可能性を検討したものである。

2. 政策体系の構築

まず、住民の意識意識にもとづき社会資本政策の体系化を行う。

意識構造の前提としては、マズロー(Maslow, A.H.)の欲求階層説を採用することとした¹⁾。

体系化にあたっては、社会資本政策を広く抽出し、類似したものを集約、欲求階層に即して配列した。このような手順で表-1の政策体系を決定した²⁾。

この政策体系3つの地域(仙台市、茨城県取手市、同真壁町)の住民を対象に意識調査を行った結果、階層性が存在することは明らかであるが、階層の数は表-2に示すような3ないし5とするのが適当と考えられた。³⁾

3. 重視度と満足度

表-1の政策体系の各項目について、前記の3地域の住民に対する調査を行った(郵送方式、サンプル数各500、有効回答率25.7%)。質問は表-1の政策カテゴリーの各項目についての重視度及び満足度を5段階(選択肢により1~5点を与える)で問うもので、その結果は図-1のとおりである。

表-1 欲求階層に基づく社会資本政策体系

| 欲求階層 | 政策体系(社会資本政策) | | |
|-----------|--------------|-----------|--|
| | 政策分野 | 政策項目 | 個別政策(アウトカム目標) |
| 生理的欲求 | 生命 | | |
| 安全と安定 | 安全 | 1災害からの安全 | 災害発生、被害実績 防災体制(カバー率など) |
| | | 2事故からの安全 | 事故発生、被害実績 安全性(安全な道路割合など) |
| | | 3公害からの安全 | 公害発生、被害実績 |
| | | 4平和 | |
| | 安心 | 5居住 | 住宅水準(基準達成度など) 居住環境(通勤時間、利便性、日照など) |
| | | 6生活環境 | 空気・水のきれいさ(透明性、満足度など) ごみ・下水(まちの清潔さ、適正処理など) |
| | | 7医療・福祉 | 医療・福祉施設アクセス(時間、カバー率など)、バリアフリー |
| | | 8治安 | 治安、風紀のよさ |
| | | 9経済基盤 | 企業立地、売り上げ、雇用 |
| | 利便 | 10移動・交通 | 道路の移動所要時間、渋滞時間・混雑度など 交流人口・交流エリア(日帰り交流圏など) |
| | | 11サービス | 商店・公共施設アクセス(時間、カバー率) |
| | | 12情報基盤 | 情報アクセス・利便性(カバー率、料金) |
| | | 13レク等の機会 | アクセス・利用状況(カバー率、満足度) |
| 愛・集団所属 | 人間関係 | 14住民意識 | コミュニティ意識割合、満足度 |
| | | 15交流の機会・場 | 地域活動等参加者数、満足度 |
| 自尊心・他者の尊敬 | 社会 | 16行政参加 | 行政への住民参画状況、満足度 |
| | | 17社会活動 | 社会活動参加状況、満足度 |
| | | 18国際協力・交流 | 国際協力・交流活動参加状況、満足度 |
| 自己実現 | 知ること | 19情報公開・提供 | 情報公開・提供(情報公開率)、満足度 |
| | | 20情報共有・理解 | 行政への理解度、行政に対する評価 |
| | 美しさ | 21景観 | 街並・景観への対応、美しさの認識、満足度 |
| | | 22文化 | 文化・歴史資源の保全、豊かさ認識、満足度 |
| | | 23自然・地球 | 自然の豊かさ、保全状況、満足度 地球環境・資源の保全状況、環境意識 |
| | 正義 | 24正義 | 社会・行政の公正の認識度 |
| | | 25公平 | 社会の公平の意識度、弱者配慮の意識度 |

(注)個別政策は一部を省略して記載している。

キーワード 社会資本、政策評価、心理学、住民満足度

連絡先 *305-0804 茨城県つくば市大字旭1番地 国土技術政策総合研究所 総合技術政策研究センター
 TEL:0298-64-0932

**982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1 東北工業大学 土木工学科 TEL:022-229-1151

表 - 2 住民意識による類型化（クラスター分析）

| 政策分野の例 | | | 政策カテゴリー |
|--------|--------|--------|----------------|
| 生活の基本 | 安全・安心 | 安全 | (1)-(5),(34) |
| | | 安心 | (6)-(13) |
| | 交流・関係 | 交通 | (14)-(17),(30) |
| | | 交流・関係 | (23)-(33) |
| 生活の充足 | 利便・ゆとり | 利便・ゆとり | (18)-(22) |

（注）政策カテゴリーは表 - 1 の番号で表示

(8)水・空気、(10)病院等、(13)経済基盤・雇用、(14)近所への行きやすさ、(16)電車・バス、(18)多様な交通手段、(19)暮らしの施設・店、(20)娯楽施設、(21)情報通信であり、各地域の社会資本政策の成果（アウトカム）あるいは社会資本整備水準が影響を及ぼしていると考えられる。

重視度と満足度をあわせてみた政策分野ごとの全体的な傾向をみると、「安全」、「安心」、「情報」、「美しさ」、「正義」の分野の満足度が相対的に低く、逆に「人間関係」、「社会」の分野の満足度相対的に高かった。これに対し、「利便」は、全般に満足度が高かったが、他の分野と比較して地域ごとの格差が大きかった。

4. まとめ及び今後の展開

社会資本政策に対する住民意識の把握の第一段階として、マズローの欲求階層説に沿った政策体系の構築を試みるとともに、住民意識の調査・分析を行った。

その結果、このような政策体系の構築が可能であることが明らかになるとともに、各政策項目に対する住民の満足度に社会資本政策の効果が反映するものと推測された。

この結果をもとに、政策体系・項目の見直しを行うとともに、対象地域を拡大して意識調査を行い、個別政策への満足度と社会資本政策の成果指標（アウトプットとアウトカム）との関連性を分析するとともに、住民満足度における各政策項目の影響（重み）を明らかにすることにより、住民意識に基づく住民意識にもとづく政策効果の計測手法の確立を目指すこととしている。

<参考文献>

- 1) Maslow, A.H. : A theory of human motivation, Psychological Review, 50, pp.370-396, 1943
- 2) 青木俊明, 栗原真行, 山下武宣: 「社会資本整備に対する住民ニーズの把握」, 都市計画論文集, No.35, pp.997-1002, 2000
- 3) 栗原真行, 青木俊明: 社会資本政策に対する住民の意識構造, 都市計画論文集, No.36, pp.907-912, 2001

重視度については、各市町とも極めて類似した傾向を示し、統計的な有意差はみられなかった。重視度が高かったのは、政策分野でいうと「安全」、「安心」、「正義」である。また「美しさ」のうち自然環境・地球環境の項目であった。

これに対し、満足度については、明らかな違いがみられた。違いが大きかったのは、(1)災害、(7)飲み水、

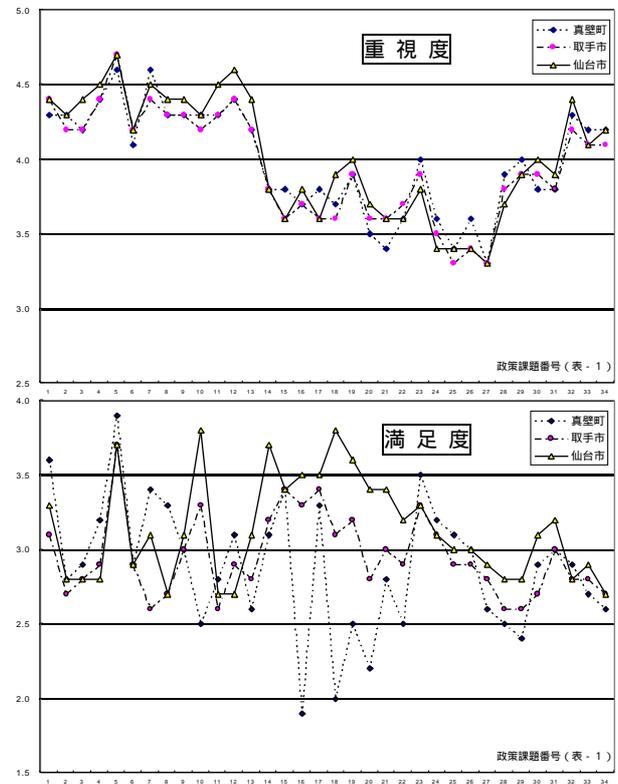


図 - 1 重視度及び満足度（全体）